

“**明治安田生命 ふるさと関西を考えるキャンペーン40年目**”

冊子「関西の橋づくし、橋めぐり」を発行

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2015年度の「関西を考える会」の冊子として「関西の橋づくし、橋めぐり」（A4判・本文88ページ）を発行します。

明治安田生命の「関西を考える会」（代表 真野 修三）は、1976（昭和51）年以来、地域・社会貢献活動の一環として関西の歴史・文化を探る活動を続け、毎年さまざまなテーマ※で冊子を発行してきました。

40年目の節目にあたる今回は、長年のご厚誼へ感謝を込め、よりいっそう、お客さまや地域を結ぶ「かけ橋」となるよう、「橋」をテーマとし、歴史的、文化的に名高い橋から先端技術の橋まで、専門家・有識者105人からいただいたさまざまなコメントを中心に、関西一円の橋を紹介しています。

なお、本冊子は、関西2府4県の図書館等にも寄贈しており、関西一円の多くの方々にお読みいただいています。

※近年の冊子テーマについては、**別紙**をご参照ください。

【冊子に掲載の有識者コメント（抜粋）】

■ **橋の魅力—日本の橋、関西の橋：松村 博（橋梁工学博士）**

- ・ 大阪市で長年多くの架橋に携わってきましたが、印象深いのは、大川にかかる川崎橋です。（中略）橋とは、昔から人々の思いや人生が詰まっている所だと思います。

■ **肥後橋（土佐堀川、大阪市）：玉岡 かおる（作家）**

- ・ 執筆のため、肥後橋に仕事場を持ちました。土佐堀川にかかるこの橋は、かつて商都として賑わった“大坂”の空気を残します。作中でも、揺れる女心の橋としました。思い出深い橋です。

【冊子で紹介している橋の数】

681橋。府県別には、滋賀県（56）、京都府（145）、大阪府（262）、兵庫県（120）、奈良県（56）、和歌山県（42）

なお、寺社庭園、町並み等の複数の橋を1橋にカウントしている場合があります。

冊子は無料で配布します。ご希望の方は、明治安田生命大阪総務部までお越しいただくか、送料300円分の切手を同封のうえ、以下までお申し込みください（おひとりさま1冊限り）。詳しくは、当社ホームページ「明治安田生命 関西を考える会」（<http://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/kansai/index.html>）をご覧ください。

〒541-0051 大阪府中央区備後町1-6-15

明治安田生命備後町ビル6F 明治安田生命大阪総務部「関西を考える会」

TEL 06（6208）3750

以上

<ご参考：明治安田生命「関西を考える会」近年の冊子テーマ>

年度	冊子タイトル
1996年	個性颯爽 ～おしゃれチック関西～
1997年	しなやかに、したたかに ～関西女性考～
1998年	勝っても負けてもお祭りや ～阪神タイガース考～
1999年	伝統とモダン ～関西の町文化考～
2000年	水との物語 ～関西の水文化考～
2001年	関西祭り百景 ～関西の祭り文化考～
2002年	関西の山風土記 ～山を通して見る関西の歴史と文化～
2003年	関西の池紀行 ～池が映す歴史と文化～
2004年	始まりは関西 ～進取の精神と風土を探る～
2005年	関西と寺社 ～寺社を通じてみる関西～
2006年	記憶のシーン ～今はない関西、残したい関西～
2007年	笑いのディクショナリー ～関西の笑い、日本の笑い～
2008年	関西の道を巡る
2009年	昭和と関西の40年
2010年	関西のまち
2011年	関西の駅
2012年	関西うまいもんばなし
2013年	探検！発見！関西の近代化遺産
2014年	関西から おもてなし
2015年	関西の橋づくし、橋めぐり